

# テクノブリッジフェア in 東北



テーマ「東北の技術の世界へ」

2023.12.6 (水) 13:30 - 18:30 受付開始 13:00

TKPガーデンシティ仙台 (AER21階 21A~C)

宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1 <アクセス方法はWEBから>

**参加無料**

※事前参加登録が必要になります。  
※ライブ配信はありません。



## 開催趣旨

今年度、産業技術総合研究所東北センターにナノマテリアル試作・評価プラットフォーム（略称 NEPP）がオープンしました。

私たちはNEPPを活用して、技術の橋渡し（テクノブリッジ）を推進します。

今回のテクノブリッジフェアでは、産総研東北センターに拠点を持つ化学プロセス研究部門の研究シーズの数々をご紹介します。

## ■お申し込み

事前参加登録制 定員100名（定員になり次第締め切り）

参加締め切り 令和5年11月30日（木）

二次元バーコードまたは下記URLからお申し込み下さい。

URL : <https://www.aist.go.jp/tohoku/ja/news/event/tbf202312/>



## ■お問い合わせ

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
東北センター

テクノブリッジフェア事務局

E-mail : [tbf-tohoku-ml@aist.go.jp](mailto:tbf-tohoku-ml@aist.go.jp)

主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 東北センター 後援：東北経済産業局 東経連ビジネスセンター

## プログラム

13:30 - 13:35	産総研からの挨拶	産業技術総合研究所 執行役員 濱川聡
13:35 - 13:40	来賓挨拶	東北経済産業局 地域経済部長 小林和昭
13:40 - 14:15	招待講演 「資源・物質循環型社会に資する化学プロセス」	東北大学大学院環境科学研究科 教授 吉岡敏明
14:15 - 14:25	ナノマテリアル試作・評価プラットフォーム	産業技術総合研究所 東北センター 所長 蛭名武雄
14:25 - 14:30	化学プロセス研究部門の紹介	化学プロセス研究部門 研究部門長 山口有朋
14:30 - 14:50	■ 話題提供 「化学反応場設計グループの炭素資源循環技術」	化学プロセス研究部門 化学反応場設計グループ 研究グループ長 牧野貴至
14:50 - 15:10	■ 話題提供 「ゼオライトの結晶構造解析と膜分離への応用」	化学プロセス研究部門 ナノ空間設計グループ 研究グループ長 長谷川泰久
15:10 - 15:30	休憩	
15:30 - 15:50	■ 話題提供 「高温水を用いたプラスチックのリサイクル」	化学プロセス研究部門 有機物質変換グループ 研究グループ長 日吉範人
15:50 - 16:10	■ 話題提供 「機能性化学品の連続生産に向けたフロープロセス技術の開発」	化学プロセス研究部門 フロー合成システムグループ 研究グループ長 石坂孝之
16:10 - 16:30	■ 話題提供 「自動フロースクリーニングシステムによるデータ駆動型材料開発」	化学プロセス研究部門 スマートフロープロセスグループ 研究グループ長 陶究
16:30 - 16:50	■ 話題提供 「LCA を考慮に入れたプロセス設計と評価」	化学プロセス研究部門 化学システムグループ 研究グループ長 片岡祥
16:50 - 17:00	閉会の挨拶	産業技術総合研究所 東北センター 所長代理 後藤浩平
17:00 - 18:30	ポスター発表	(敬称略)

## ポスター発表

### ■ 化学反応場設計グループ

- ・「環境にやさしい抽出技術と白色化技術を通じた植物芳香族系高分子リグニンの機能素材化」 敷中一洋
- ・「CO<sub>2</sub>分離回収技術の省エネ化に向けたイオン液体の開発」 河野雄樹
- ・「機械学習を用いた特異場の平衡物性予測」 藤井達也

### ■ ナノ空間設計グループ

- ・「長寿命で高感度な酵素センサーデバイスの開発～VOC ガス、農薬、糖やアミノ酸の測定～」 伊藤徹二、武田康太
- ・「Carbon capture and utilization using inorganic nanoporous membranes」 Lundin Sean-Thomas、池田歩

### ■ 有機物質変換グループ

- ・「高温水を用いた PET のケミカルリサイクル」 佐藤修
- ・「透過電子顕微鏡を用いたナノ材料の評価」 日吉範人

### ■ フロー合成システムグループ

- ・「反応・抽出・分離の連続化による機能性化学品の連続合成」 市塚知宏
- ・「精密なマイクロ波照射技術によるエレクトロニクス産業の GX 化への取り組み」 中村考志

### ■ スマートフロープロセスグループ

- ・「バイオポリマーを素材に使った透明多孔体の開発」 竹下覚
- ・「6G 向け基板材料を志向したポリマー/セラミックスハイブリッド材料開発」 阿多誠介

### ■ 化学システムグループ

- ・「CCUS プロセスの設計と最適化」 原伸生
- ・「反応開発を支援するプロセス設計からの溶媒選択」 山木雄大、片岡祥